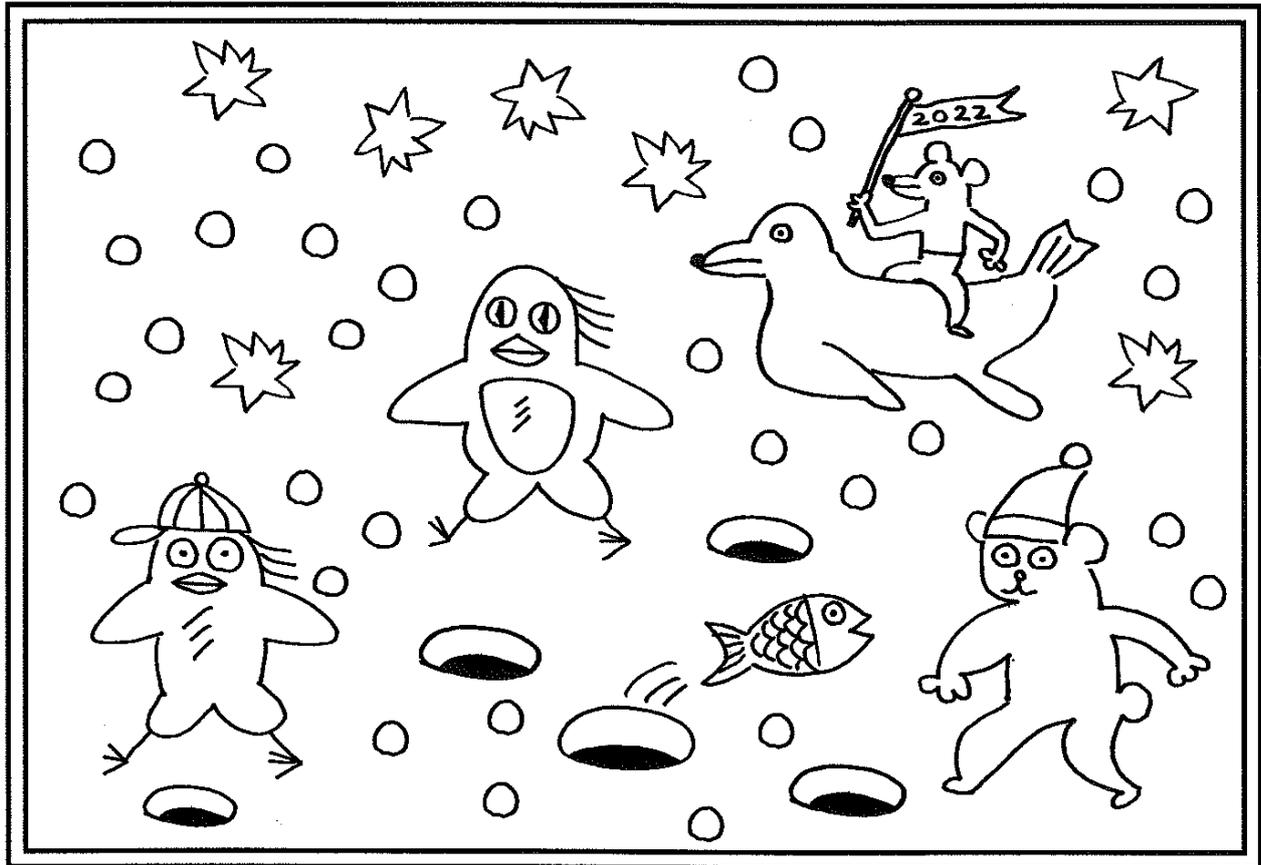


楽らく通信



絵 池谷史郎



- スペース楽 住所：小金井市東町 4-10-14 TEL:042-388-6456 / FAX:042-316-3664
E-MAIL:space-raku@mx4.alpha-web.ne.jp
- スペース楽・2 住所：小金井市本町 1-6-11 TEL/FAX：042-388-7887
E-MAIL:1997raku.2@jcom.zaq.ne.jp
- らく福祉会相談支援事業所 住所：小金井市本町 1-6-11 エクセレンス小金井 1F-B
TEL:042-201-1150 / FAX：042-202-9955
E-MAIL：raku-soudan@jcom.zaq.ne.jp
- グループホームこがねい・ちぐら TEL：042-387-8468
- グループホームらく・ちぐら2 TEL：042-383-6181



スペース楽活動報告

■炎天下での除草作業

昨年度から除草作業の仕事が飛躍的に増え、スペース楽のとても大事な作業の一つとなりました。アパートや駐車場の除草をしています。

今年の夏は非常に暑く、炎天下での除草の日もありました。お客様からアイスの差し入れをもらったこともありました。皆様、夏場の作業をととてもよくがんばられたと思います。仕事が増え大変な分、工賃が増え、喜ばれた方も多かったです。除草作業に関わった方々の言葉を紹介したいと思います。



雑草の根の深さにただ感心するばかりです



途中ふらっとしましたが、持ち直しました



1年経つとあんなに雑草が生えているんだなど驚きました



作業をしていて、除草作業は好きだなと思いました



根性、忍耐、我慢、色々なことを精神的に身につけられるありがたい作業です。でも疲れた

(スペース楽/山根)

■「玄米デカフェクッキー」製造

スペース楽では楽オリジナルのケーキやクッキーのほか、卸先様の持ち込み材料で通常品とは違った商品も製造しています。ご注文内容に合わせ、試行錯誤しながら、メンバー皆で作業できるものを作り上げています。現在、オフィス・セヴンスノート様、株式会社 MNH 様、他事業所様のオリジナルクッキーを製造しています。その中でも今回は株式会社 MNH 様の特注オーダーメイドクッキー「玄米デカフェクッキー」をご紹介します。米粉

とバターサクッ、ホロツとした食感に玄米デカフェの粒つぶ感がマッチしたまん丸型のとても美味しいクッキーです。生地捏ねや計量、成形、袋詰めをメンバーが担当。グルテンフリー製品のためとても緊張しながらの作業です。

製品は食品の口コミサイト「もぐナビ」で☆6.4(7が満点)と好評をいただいています。ご購入は MNH 様 (<https://www.mnhhappy.com/>) までお問い合わせください。

(スペース楽/柳澤)



■コロナ禍における活動について

コロナ禍で皆が集まる機会がなかなかなかったのですが、6カ月ぶりに友愛会館を借り、全体ミーティングを開催しました。

緊急事態宣言が明けた今、引き続きコロナの感染に気をつけながら、会食イベント以外で、密を避けながらできるレクや行事はないか。皆様の希望を聞いてみました。集まった声を以下にご紹介いたします。

☆ ボウリング (忘年会ならぬ忘リング?)

☆ ストレッチ ☆ 体育館 (卓球、バドミントン)

☆ 工場見学 (内職などでお世話になっている工場など!) ☆ 勉強会 (病気について)

☆ 美術館 ☆ 公園でジェスチャーゲーム

☆ 井の頭恩賜公園散歩、井の頭自然文化園、神代植物公園、昭和記念公園など

☆ マスクの下の顔を忘れたので、マスクの下の顔を一瞬お披露目会

などなど、たくさんのアイデアが集まりました。少しずつレク・行事を実現したいと思います。

(スペース楽/山根)

スペース楽・2活動報告

■新製品紹介&展示会

さまざまな手芸品を日々製作しているスペース楽・2ですが、こここのところ刺しゅうが熱い。かねてから取り組んでおられるメンバーさん、初めて挑戦するメンバーさん（そしてスタッフも）、皆でチクチク……思い思いの図柄や刺し方で、楽しんでおります。

この秋冬（11月・12月）の展示会の目玉商品だったのが、そんな作品たち（写真左）。あたたかみのある可愛らしいお花や木々の刺しゅうが人気のポーチ。数人の力を結集した刺し子のバッグ。そ

して、刺しゅうが素敵にデザインされた斜め掛けかばん。

刺しゅう以外では、着物の反物から作ったブラウスやパンツなどもおすすめ。古い和柄が逆に新鮮で個性的。しかも着心地抜群です（写真右）。展示会ではいずれの作品も好評でした。

楽・2では、定番物に加え、さまざまな新製品を密かに常時開発中です。ぜひお見逃しのないよう、次回の展示会に足をお運びのうえ、お手に取ってご確認くださいませ♪



写真のポーチは 1000～2000 円、バッグは 1000～3500 円、ブラウスは 3500 円。

色味は、らく福祉会ホームページのカラー写真にてご確認くださいませ。

※木綿の布を常時募集しております。余り布等ございましたらぜひご連絡ください。

（スペース楽・2／江本）

■パソコン・スマホの会

今年は初めてのプログラムとして、「パソコン・スマホの会」を2回開催しました。この時代、何をするにもパソコンやスマホの操作は欠かせません。利用者さんのニーズに合った良い会が開催できたと思います。

講師は東京学芸大学の学生さん。1回目は社会福祉を学ぶ学生さんと、情報技術を学ぶ学生さん

の2名。2回目は1回目と同じ社会福祉を学ぶ学生さんと、同じく社会福祉を学ぶ別の学生さんでした。

和気あいあいとした雰囲気の中、参加者の皆さんは、日ごろの疑問を解決したり、学んだりすることができました。

第1回：6月11日（金）

参加者5名。出された質問・要望は、「スマホで動画を撮りたい」「Twitterを見たい、フォロワーを整理して上手に使いたい」「好きな芸能人のSNSを見たい」など。

こうしたリクエストに沿って個々に教えてもらいながら、各自のスマホを操作しました。今回はパソコンは使わず、スマホだけを使用しました。

第2回：11月17日（水）

1回目が好評だったため2回目を開催。参加者は5名でした。

今回は事前に質問を募るという形をとり、パソコンも使いました。事前に出された質問・要望は、「LINEのアカウントをとって家族とLINEがしたい」「今話題の5Gは4Gとどう違うのか」「格安ス

マホは本当にお得なのか？」など。講師の学生さんたちは、前もって一生懸命調べてきてくれましたが、「エクセルでデータの管理をしたい」といった少々高度な要望もあり、これは一緒に悩んで終わってしまいました。

その他、当日に出されたものとして、「スマホでリマインダー、メモ機能の上手な使い方が知りたい」といった要望もありました。

1回目も2回目も、学生さんがとても熱心に質問に答えてくれていたのが印象的でした。

終了後、「今後も若い力と施設がつながりをもてるとうれしい」と伝えると、「後輩にも伝えてみる」とのこと。とても頼もしく感じました。こうして若い方と今後つながりを保っていけるとうれしく思います。
(スペース楽・2/江本)

■コロナ禍のなかで

今年も、年明けから世界中がコロナウイルス対策に追われました。スペース楽・2でも、感染リスクを減らすための対策に、職員だけでなく、ご利用中の皆様、展示会等にご来場いただいた方にもご協力いただき、今日まで運営することができています。

コロナに関する情報は、公的な機関のみならずさまざまな人がさまざまな手段を使って発信しています。手に入れた知識や情報は、知ることで安心を与えてくれるもの、心配を招くものが混ざり合っていて、これらを一人で毎日見たり聞いたり

していたらなんと心細いことかと思わずにはいられない日々でした。

残念な予測ではありますが、来年も何かしらの対策が求められることだろうと考えています。しかし、新しい1年は、心細い気持ちになりがちな毎日を、地域の皆様、利用者、職員がつながることをこれまで以上に意識して、変わる事が多い日常も地域活動支援センターで仲間と過ごせば普通の1日になる、関わる皆が安心して利用できる、という場所にするためにプログラムを変えていこうと思います。
(スペース楽・2/鮫島)



利用者さん投稿ページ



■私の音楽歴 ～西城秀樹さんとの出会い～

私と西城秀樹さんの出会いは、高校を卒業して、2、3年経ったころだと思います。ある日、ラジオを聞いていたら、そこから流れてくる声に惹かれたのです。斎藤こずえさんというNHKの『鳩子の海』という朝ドラで子役を演じていた女の子と一緒に、秀樹さんがラジオ番組をやっていたのです。その秀樹さんの声が本当に可愛らしく、いっぺんにファンになりました。

その後テレビの歌番組で見るようになり、武道館コンサートによく一人で行くようになりました。左とん平さんがゲスト出演し2人でステッキを持ち、タキシードを着て、時折タップを踏みながら、アメリカのショーのような軽妙な、また小粋な掛け合いが楽しかったものです。

私はといえば、コンサートに出かけて後ろの方の席でショーの様子を見ていました。いつか目が合わないかなあというかすかな望みを持ちながら。

秀樹さんの大好きなところは、ハスキーな声、

シャウトする歌い方、アクションの動きがやわらかいところですよ。

晩年、脳梗塞に2度なられて、それでもありのままの姿を通して、リハビリにも懸命に努力されている様子がテレビに映し出されて、涙、涙で見れていたものです。『夜のヒットスタジオ』の司会をしていた吉村麻里さんが、闘病中の秀樹さんを見舞いにいらしたときのこと。涙でほとんど話せない吉村さんにユーモアをもって「いつまでも若いね」と言って心を和ませる、そんな秀樹さんでした。

私は本当に、秀樹さんの生き方を通して、病気になってもくじけず、ありのままに生きること、勇気、明るさ、ユーモア、そんなことを教えてもらいました。本当に貴方に会えて幸せです。これからも大好きです。ありがとうございます。

(トミーちゃん)

■バーネットの『小公子』を読んで

読後、この本にどうしてもっと若いころに出会わなかったのかなあという思いでいっぱいになりました。主人公セドリックという7歳の少年を取り巻く人々との触れ合い、セドリックの人を信じて疑わない真っすぐな性格、快活で無邪気で勇気があり、困っている人のために何かしてあげられることはないかいつも考えている。こんな少年がいたら世の中がもっともっと素晴らしいのではないかという気持ちになりました。

あらすじは以下の通りです。アメリカに生まれたセドリックは、気立ての良い大好きな母や周囲

の人々の細やかな愛情に包まれ幸せに暮らしていたが、名も知らぬ貴族の祖父の跡継ぎになるためイギリスへ。高慢な祖父はセドリックの無邪気で温かい心に触れ、次第に変わっていく――。

人間がこんな風に生きられたら、また、この小公子フォントルロイ（セドリック）のような心で生きられたら――そんなことを思う小説でした。どうかたくさんの方々に読んでほしい。私は生涯この本を、人生に迷ったとき、悩んだときに読みたいと思いました。心の中に素晴らしい贈り物ももらった本です。

(トミーちゃん)



